

臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学病院脳神経外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

脳腫瘍に対する術前塞栓術の後方視的検討

[研究の背景と目的]

当施設では 2013 年 4 月より聴神経腫瘍や頭蓋底腫瘍を含む脳腫瘍に対する開頭腫瘍摘出術を積極的に行っており、手術件数は年間 150 件前後と、国内では突出した件数の診療を行っています。そのため脳腫瘍に対する術前塞栓術の件数も国内では有数の症例数を誇っています。稀なためまとまった報告のない脳腫瘍に対する術前塞栓術ではありますが、当科では、かねてより術中出血の軽減と塞栓による腫瘍の軟化、それによる術中視野の確保によって担保される手術安全性の向上に重きを置いてきました。しかし、術後長期成績は十分には検討できていないのが現状です。

今回我々は脳腫瘍に対する術前塞栓術を行った症例を後方視的に検証し、より安全かつ最適な塞栓術の確立を目的とします。

[研究の方法]

対象となる方

2013 年 4 月 1 日より 2020 年 6 月 30 日までの間に小脳橋角部類上皮腫に対して摘出術を受けた患者さんで、「後頭蓋窩腫瘍の臨床成績向上を目指したデータベースの作成」にご同意いただけた方を対象とします。

研究期間

医学倫理審査委員会承認後より研究開始とし、2030 年 12 月 31 日までに解析・検討を行います。

利用する検体やカルテ情報

日常診療で必要であった診療録や術前後の症状、画像所見の解析を行います。新たな検

査などは必要ありません。

検体や情報の管理

得られたデータは匿名化し、研究を分担するスタッフのみがアクセス可能として、作業場所、データ保管場所などの管理を厳重に致します(管理責任者:坂本広喜)。研究成果の公表に際しては、個人が特定されないことがないように配慮するなど、当院の規定に基づき個人情報保護の徹底に努めます。

[研究組織]

当科単施設での研究です。

研究責任者:東京医科大学	脳神経外科分野	助教	坂本広喜
研究分担者:東京医科大学	脳神経外科分野	主任教授	河野 道宏
研究分担者:東京医科大学	脳神経外科分野	准教授	橋本 孝朗
研究分担者:東京医科大学	脳神経外科分野	助教	田中悠二郎
研究分担者:東京医科大学	脳神経外科分野	助教	岡田 博史
研究分担者:東京医科大学	脳神経外科分野	助教	青柳 滋
研究分担者:東京医科大学	脳神経外科分野	助教	新井 佑輔

[問い合わせ先]

いつでも相談窓口(担当医師)にご相談下さい。

東京医科大学病院 脳神経外科

〒160-0023

東京都新宿区西新宿6-7-1

電話番号 03-3342-6111(代表) (内線)3221

E-mail hiroki0528@gmail.com

担当医師:坂本広喜、河野道宏、橋本孝朗、田中悠二郎、岡田博史、青柳滋、新井佑輔